

**FOR IMMEDIATE RELEASE**

<プレス・リリース>

配信日：2022年4月19日

プレス担当：

マリカ絵美 (EMarica@japansociety.org)

アリソン・ロッドマン (ARodman@japansociety.org)

## ジャパン・ソサエティー（JS）映画部

### 特別上映会

### 『アイヌモシリ』（Ainu Mosir）

**5月7日（土）午後7時より**

於：ジャパン・ソサエティー内 劇場  
(333 East 47<sup>th</sup> Street, New York, NY 10017)



ジャパン・ソサエティー（JS）映画部は、5月7日（土）午後7時より、福永壮志監督の『アイヌモシリ』を特別上映致します。前日5月6日（金）に実施されるJS舞台公演部のコンサート『OKI：アイヌの音楽』のメイン・アーティストであるOKIが出演する本作品は、アイヌの少年と彼の住む阿寒湖のアイヌコタンでの、現代と伝統の間にあるギャップに迷い苦悶しつつも伝承に尽くそうとするアイヌの人々の暮らしを描いた2020年の作品です。上映後のQ&Aセッションには、OKIが登壇し、観客と質疑応答を行います。アイヌ文化や音楽、そして映画の舞台裏についてOKIから直接話を聞けるチャンスです！

本作は、長編デビュー作『リベリアの白い血』で、ニューヨークに渡るアフリカの移民の苦悩を描き、国内外で高く評価された新鋭・福永壮志監督が、自身が生まれ育った北海道を舞台に作り上げた長編2作目です。ニューヨーク・トライベッカ映画祭のインターナショナル・ナラティブ・コンペティション部門にて、長編日本映画史上初の審査員特別賞を受賞しました。本作にて初主演を果たした下倉幹人を始め、主要キャストは実際にアイヌの人々を起用されています。また、リリー・フランキーや三浦透子らがゲスト出演し、脇を固めています。

### 【リスティング・インフォメーション】

#### 『アイヌモシリ』（Ainu Mosir）

2022年5月7日（土）午後7時

（終演後アーティストQ&Aあり）

チケット料金：一般\$15／JS会員\$5

詳細&チケット購入：<https://www.japansociety.org/arts-and-culture/films/ainu-mosir>

ボックスオフィス：212-715-1258

月曜～金曜 午前9時～午後5時

またはJSウェブサイト [www.japansociety.org](http://www.japansociety.org)

会場：ジャパン・ソサエティー内、劇場（333 East 47<sup>th</sup> Street, New York, NY 10017）

### 【あらすじ】

14歳のカントは、アイヌ民芸品店を営む母親のエミと北海道阿寒湖畔のアイヌコタンで暮らしていた。アイヌ文化に触れながら育ってきたカントだったが、一年前の父親の死をきっかけにアイヌの活動に参加しなくなる。アイヌ文化と距離を置く一方で、カントは友人達と始めたバンドの練習に没頭し、翌年の中学校卒業後は高校進学のため故郷を離れることを予定していた。亡き父親の友人で、アイヌコタンの中心的存在であるデボは、カントを自給自足のキャンプに連れて行き、自然の中で育まれたアイヌの精神や文化について教え込もうとする。少しずつ理解を示すカントを見て喜ぶデボは、密かに育てていた子熊の世話をカントに任せる。世話をするうちに子熊への愛着を深めていくカント。しかし、デボは長年行われていない熊送りの儀式、イオマンテの復活のために子熊を飼育していた。

### 【JSについて】

JSは、日本の芸術、文化、ビジネス、社会をニューヨーク及び世界の人々とつなぐ全米随一の規模を誇る日米交流団体であり、芸術と文化、公共政策、ビジネス、サステナビリティ、教育における革新的なプログラムを通じて、ニューヨーク市歴史的保存建築に指定されているJS本部ビルからだけでなく、オンライン形式でも発信しています。1907年以来、JSでは「きずな（絆）」の考えのもとに、革新的な次世代クリエイターの支援、日米相互理解の促進、日本の多様性を深く理解しようと願う世界の人々にとって信頼できる案内役となること、そして日米間の相互理解の促進と絆を深めることを目指しています。拠点とするニューヨーク市でのつながりを一層強化することに加え、米国内外での新たな架け橋の構築にも取り組んでいます。詳細は [www.japansociety.org](http://www.japansociety.org) をご覧ください。

JSは今年、ニューヨークのランドマークである本館設立50周年の記念して新しいロゴマークを導入いたしました。JSが文化や人種、時を超えてつながりを作っていく基盤となることを願い、「JS」の文字の重なりと線と形の連結を用いて、絆というコンセプトを打ち出しています。

### 公式 SNS アカウント：

Facebook：[facebook.com/japansociety](https://www.facebook.com/japansociety)

Instagram：[@japansociety](https://www.instagram.com/japansociety) and #japansociety

Twitter：[@japansociety](https://twitter.com/japansociety)（英語）／ [@js\\_desu](https://twitter.com/js_desu)（日本語）

その他、詳しい情報は弊社ウェブサイト <http://www.japansociety.org> をご参照ください。

住所 333 East 47<sup>th</sup> Street (1Avenue と 2 Avenue 間), New York, NY 10017

最寄駅は地下鉄、4/5/6 番ライン、7 番ラインのグランドセントラル駅、あるいは E か M ラインのレキシントン街・53 丁目駅。代表電話 212-832-1155 / ウェブサイト [www.japansociety.org](http://www.japansociety.org)

\*\*\*

**取材申し込み：**

上記公演の取材をご希望の方は、事前に必ずプレス担当：マリカ／ロッドマンまでEメールで ([EMarica@japansociety.org](mailto:EMarica@japansociety.org) / [ARodman@japansociety.org](mailto:ARodman@japansociety.org)) お申し込みください。尚、プレス席には限りがございます。満席の場合はご容赦ください。

\*\*\*

JS 映画部は、  
以下の財団・基金・企業および個人より支援・後援をいただいています。

*Japan Society programs are made possible by leadership support from Shiseido Americas and The Ford Foundation. Japan Society Film programs are generously supported by ORIX Corporation USA, public funds from the New York City Department of Cultural Affairs in partnership with the City Council and the Lila Wallace-Reader's Digest Endowment Fund. Additional season support is provided by The Globus Family, Akiko Koide and Shohei Koide, David Toberisky, Geoff and Fumi Matters, Laurel Gonsalves, and David S. Howe. Transportation assistance is provided by Japan Airlines, the exclusive Japanese airline sponsor of Japan Society Film.*